

# 令和 2 年度第 5 回 四條畷市公共施設再編検討会 議事要旨

## 開催概要

- ・日 時:令和 3 年 3 月 17 日(水) 18:30~20:30
- ・場 所:四條畷市役所本館 3 階 委員会室
- ・出席者:検討会委員 15 名(総数 15 名)
- ・傍聴者:4 名(定員 14 名)

## 主な意見等

### 第 2(第 1 号)四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について

#### ●グループワークの班分け・進め方について

- ・グループワークの班の分け方をどのように考えられたか教えて欲しい。(山口委員)  
…各班の議論の進行役として配置した委員の他は、委員名簿順に振り分けている。一部男女比の関係からの調整はしている。(事務局)
- ・以前に十数回、市民の意見を聞くワークショップされてきたが、その時の市民意見・方向性と実際の計画に乖離があったように思う。今回もグループワークを取り入れるということで、不信感があるが、どうか。(山口委員)  
…グループワークを採用した意図としては、委員の皆様の意見を伺いながら、検討会として一つの方向にまとめていく上で、各々の理解も進み、納得できるものになるのではないかとこの考えから、第4回検討会で確認させていただきました。(事務局)
- ・グループワークを何回か実施した上で、やはりグループワーク形式が良くないのではないかと思うことがあれば、その意見を聞いて方法を変更していただけるのか。(山口委員)  
…様々な意見を伺うために本日第 5 回はグループワークの形式としているが、次回以降は、本日出される各班の案(3 案)を基に議論を行うことを想定しており、その際はこれまで通り委員 15 名全員で議論を進めたいと考えている。(事務局)  
…グループワークは通常の会議形式よりも委員の皆様がたくさん議論していただける形式であると考えている。密な意見交換のツールとしてグループワークを取り入れたと理解していただくのが良いと思う。(小田切委員長)

#### ●グループワークの結果(各班の再編検討案)について

##### 【A班】

- ・考え方として、まず、市の計画で方針が決まっている箇所はそのとおりとし、次に施設の耐用年数に着目して機能配置を考えた。
- ・i)市庁舎(行政の中心)、ii)福祉コミュニティセンター(福祉の中心)、iii)保健センターと市民総合センター(後々統合して象徴的な場所にする)をそれぞれ三本柱として位置づけ、これらの施設群で市の中心部を形成するというように考えた。
- ・その他の施設については、歴史をテーマとした統合(歴史民俗資料館と教育文化センター)や、忍ヶ丘あおぞらこども園の敷地や西中サブグラウンド、駅前タイムズ敷地等での高齢福祉や子育て支援機能の補完について議論をした。
- ・全体的に施設再編を考えるうえで、アクセスの問題、道路整備の必要性が課題として捉えられた。

##### 【B班】

- ・たたき案②を議論のスタートラインとして、それぞれの機能配置を精査した。
- ・各敷地のアクセス性や周辺環境の状況、耐震性の有無、施設が備える設備の観点から、たたき案②の配置で概ね問題ないのではないかと、という結論になった。
- ・西中サブグラウンドや市民活動センターの敷地、駅前タイムズ敷地等では公園・広場などの人が集まれる

ような施設を整備する、市民総合センターとグリーンホール田原に緊急時の代替として市庁舎の機能を一部分散配置する、などの意見について議論をした。

- ・ 南中学校跡地について、多世代の人が集まるような形で、様々な機能を複合的に整備していきたいと考えた。
- ・ 歴史民俗資料館は人があまり来ないという課題があることから、アクセス性や広報等のソフト的な取組みを更に工夫して、人が集まれるようにするのはどうかとの意見もあった。
- ・ 付箋紙の付いていない敷地については、前回川勝委員から提案のあったような機能を整備していくのも一つの方法ではないかとの意見も見られた。

#### 【C班】

- ・ 市庁舎と保健センターはまとめて、国道 163 号から視認できるようなシンボルチックな高層建築として整備するのはどうかとの意見があった。高層化することで空く場所に、現状で不足している駐車場や公園が配置できると良いと考えた。
  - ・ 南中学校跡地については、福祉機能を集約して、子育て世代や高齢者を含む多世代が集い交流する施設として整備し、できる限り広々とスポーツをしたり集ったりできる場所になってほしいと考えた。
  - ・ グリーンホール田原は、市役所機能があるが、若者が集まれるようなジム等もあると良いとの意見があった。
  - ・ 市民総合センターについては、耐用年数の関係から暫く現状維持とし、引き続き使用していけば良いのではないかと考えた。
  - ・ 駅前タイムズの敷地については、民間活用で活性化してもらう方針で議論をした。
  - ・ 検討する中で、子どもや高齢者に関連する機能については、自宅近くに複数あると利便性が高いため分散配置が好ましいが、集約できる機能はしっかりと集約するというような、分散と集約のメリハリのある再編ができるが良いと考えた。
- …各班で共通している部分や異なる部分があるため、次回以降どのような形で議論を進めていくか、委員長・副委員長及び事務局で検討し、提案させていただく。(小田切委員長)